

公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	オハナピース恵美須町			
○保護者評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	6
○従業員評価実施期間	2025年 2月 1日		～	2025年 2月 28日
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 1日			

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	ヒヤリハットを含めた情報共有を行い、全職員が共通認識を持って支援に携わっています。	引継ぎ書やタブレットを使用し、迅速で丁寧な情報共有を行い、チームの連携に努めます。
2	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	送迎時の引き継ぎに加え、不登校児の保護者や学校担任と連携し、情報共有を行っています。	関係機関とのケース会議実施等、日々の情報共有に加えて、より密な関係の構築に努めます。
3	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	年2回、保護者会を実施しています。	保護者会に参加出来なかった保護者に向けた情報共有や、開催日程の検討を行います。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	事業所として考えている課題 の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	計画作成や面談を、責任者のみで行っています。	モニタリング等の面談に職員も同席し、児童への理解をより深めた上で、計画書の検討会議に参加していただきます。
2	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	イベントの実施は出来ているが、日々のプログラムは固定化されています。	プログラムの組み立てには全職員が参加し、児童にとって有益で新しい体験が出来るよう会議を行います。
3	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	地域との繋がりが少ない為、事業所内のみでの行事を実施しています。	地域行事に積極的に参加し、児童クラブや地域住民との繋がりを増やしていきます。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名：オハナピース恵愛奨励 公表日：R7年 4月 1日
 職員数：5 員数：5

項目	評価項目	自己評価	他者評価	取組内容	評価結果	
施設環境	11	利用者が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	法令等に遵守したスペースを確保しています。	人数が多い時は部屋や活動を分けています。
	12	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	法令が必要とされる職員数、またはそれ以上の職員を配置しています。事務を業務分組して支援に影響がないようにしています。	定員数、職員数によって事前どこに誰を配置するかを決めて実施しています。
	13	生活空間は、どこにわたりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	3	2	机の角にクッション材をつけるなど工夫を行っています。また、	施設内の設備など歩行が不安定なお子様もいる為、踏み台などを活用して安全面についての配慮も進めています。
	14	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	提供する活動に適した整備を行っています。	
	15	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	活動がつかある為、お子様の状態に合わせて個室の提供をしています。	
	16	施設改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加しているか。	5	0	毎朝ミーティングを行い、目標設定や情報の共有、振り返りを行っています。	
	17	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	事業所についての資料を、評価表と併せて保護者へお渡ししました。	評価結果を元に話し合い、ニーズの把握、業務改善につなげてまいります。
	18	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎日の振り返りに加え、月に1回、全職員での会議の場を設けています。	
	19	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3		現在は行ってませんが、今後必要に応じて検討してまいります。
	20	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	月に1回の職員研修を行っています。また、外部研修の参加についても推進しております。	
活動・プログラム	21	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	1	ホームページへ支援内容を記載しています。その他、定期的にお便りや連絡帳にて支援内容を共有しています。	
	22	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を的確に把握し、支援プログラムを作成しているか。	3	2	長学や契約時に保護者から本人様の状況やニーズなどを伺っています。また、定期的に実施しております。	お便りでの面談が難しいご家庭へは、電話対応や訪問を実施いたします。
	23	施設等ディサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもと支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの個別の特性を考慮し検討が行われているか。	4	1	月に1回の全体会議や、日々の振り返りの時間を活用し、お子様の情報を共有しています。	モニタリング等の面談に職員も同席し、児童への理解をより深め、計画書の検討会議に参加していただきます。
	24	施設等ディサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	計画書を用いた会議を実施しています。	全職員への周知が出来ていないお子様に対して、情報共有の場を設けています。
	25	こどもの認知行動の観察を、標準化したツールを用いたフォームからアセスメントや、日々の行動観察などを含むiPadアプリを用いたアセスメントをより推進しているか。	3	2	保護者から、発達検査の結果をいただくと、支援に反映しています。	
	26	施設等ディサービス計画には、施設等ディサービスガイドラインの「施設等ディサービス提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のふら及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	お子様の状況に合わせて必要な支援を提供しています。	
	27	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	ミーティングや朝礼後、職員で話し合う機会を設け担当を決めて協力し合っています。	
	28	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	月間の予定表を作成して、プログラム、イベントが固定化しないよう行っています。	
	29	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせることで施設等ディサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	お子様の状況に応じて個別活動や集団活動を組み合わせています。	
	30	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	毎朝ミーティングを行い、当日の職員の動きや、お子様の状態など情報共有を行っています。	
職員・保護者関係	31	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	支援終了後、記録記入時にその日の振り返り、情報共有を行っています。	職員への情報共有ができるよう努めます。
	32	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげられているか。	5	0	毎日記録を挟んで毎朝のミーティングで話し合いの場を設けています。	
	33	定期的にモニタリングを行い、施設等ディサービス計画の進捗の必要性を判断し、適切に見直しを行っているか。	4	1	定期的にモニタリングを行い、サービス担当者会議を通して計画の見直しを行っています。	職員への情報共有ができるよう努めます。
	34	施設等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4	1	創作活動や余韻活動を組み合わせて支援を行っています。	職員への情報共有ができるよう努めます。
	35	こどもが自己決定できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す工夫を営むための支援を行っているか。	5	0	お子様の自己決定の機会を多く提供しています。	
	36	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、こどもの状況をより理解し参加しているか。	5	0	児童発達支援管理責任者、児童指導員などお子様の状況に精通している職員が参加しています。	
	37	地域の保護、児童（注：施設や協働機関等）、障害福祉、教育等の関係機関と連携して支援を行う機会を確保しているか。	4	1	必要に応じて、連携を取っています。	継続的な関係が作れるよう、定期的に連携を取ってまいります。
	38	学校との情報共有（年間計画、行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（退席時の対応、トラブル発生時の対応）を適切に行っているか。	5	0	送迎時や電話連絡等で随時情報共有を行っています。また必要に応じてケース会議を実施しております。	お子様や保護者、学校の要望に合わせて情報共有の機会を増やします。
	39	送迎時に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有が相互理解に促されているか。	5	0	必要に応じて情報共有と相互理解をしています。	
	40	学校を卒業し、施設等ディサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それぞれの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	0	就職先の事業所やお子様本人と定期的に連携を取っています。	
地域・社会関係	41	地域の児童発達支援センターとの連携を行い、必要に応じてスーパーバズや訪問や研修を受ける機会を設けているか。	5	0	必要に応じて児童発達支援センターから助言をいただいております。	
	42	施設等ディサービス計画との連携や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	0	買い物や公園外出の際に、地域のお子様と一緒に過ごす機会を作っています。	
	43	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	0	開催時には積極的に参加しています。	
	44	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に保護者とお会いして伝えよう心がけていますが、送迎時にお会いできない保護者とは、連絡帳やお電話で情報共有しています。	
	45	保護者の対応力の向上を図る観点から、家庭に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）や保護者の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	保護者の状況を見ながら、必要に応じてできるだけ伝えようとしています。	
	46	就業履歴、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	ご契約時や必要な場合は随時説明を行っています。	
	47	施設等ディサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの権利の優先考の観点から、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	保護者だけでなく、お子様への聞き取りの時間を設けてまいります。	児童へ面談の実施ができるような仕組みを作っていきます。
	48	「施設等ディサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から施設等ディサービス計画の同意を得ているか。	5	0	面談時や送迎時、保護者と一緒に確認しています。	
	49	施設等からの子育てでの悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言や支援を行っているか。	4	1	その都度お子様の状況に応じて保護者とお話しし、悩みや相談に適切に対応できるように心がけています。	
	50	父母の育育の活動を実施することや、保護者会等を開催する等により、職員や保護者と関係する等を実施しているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5	0	年2回、保護者会を開催しています。	きょうだい同士の交流の場は設けていませんが、必要に応じて実施してまいります。
安全・安心関係	51	こどもの安全確保に関して、業務等との連携が図られるよう、安全計画に基づき定期的に実施しているか。	5	0	防災や避難訓練についての資料を作成し、配布しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5	0	ヒヤリハットに職員で共有して話し合っております。	
	53	虐待防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	入社時と年一回研修を実施しております。	
	54	どのような場合にむき手身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、施設等ディサービス計画に記載しているか。	5	0	現在は身体拘束が必要なケースはありませんが、身体拘束については定期的に内部研修を実施しております。	
	55	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分に行われているか。	5	0	避難経路を事業所外に指示しています。事業所内外の危険箇所の確認や点検を定期的に行っています。	
	56	こどもの安全確保に関して、業務等との連携が図られるよう、安全計画に基づき定期的に実施しているか。	5	0	防災や避難訓練についての資料を作成し、配布しています。	
	57	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	5	0	ヒヤリハットに職員で共有して話し合っております。	
	58	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	入社時と年一回研修を実施しております。	
	59	どのような場合にむき手身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前十分に説明し了解を得た上で、施設等ディサービス計画に記載しているか。	5	0	現在は身体拘束が必要なケースはありませんが、身体拘束については定期的に内部研修を実施しております。	
	60	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分に行われているか。	5	0	避難経路を事業所外に指示しています。事業所内外の危険箇所の確認や点検を定期的に行っています。	

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名:オハナビース恵美須町

公表日 R7年 4月 1日
利用児童数7 回収数6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1	0	1		面談等で来所された際にご案内いたします。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	0	0	2	少なく感じることもある。	当事業所には教員資格を所持している職員が多数在籍しています。また、安心して預けて頂けるよう、十分な職員の配置、専門性を高める研修等も毎月行っております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	0	0	1	環境設定がされているかわからない。	お子様が安全に過ごせるように、環境整備に努めてまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3	2	0	1		提供する活動に適した整備を行っていきます。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	0	0	2		お子様の理解や、統一した支援の提供ができるよう、定期的な会議を実施しています。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4	0	0	2	公表しているプログラムの内容が分からない	ホームページへ、支援内容を記載しています。その他、定期的にお便りや連絡帳にて支援内容を共有いたします。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	1		お子様、保護者様と定期的な面談を実施し、個別支援計画へ反映させていただきます。
	8 「放課後等デイサービス計画」には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	0	0	1	分かりにくい項目がある。	面談時の聞き取りを丁寧に行い、具体的な内容をお伝えできるよう努めてまいります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6	0	0	0	計画の説明をしてくれている。	引き続き、計画に沿った支援を提供していきます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	0	0	1	イベントを楽しみにしている。	お子様の将来に役立つことが出来る様に、様々な体験活動を取り入れ、またお子様の意見を尊重しながら楽しんで頂けるように今後も楽しいプログラムを計画してまいります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	0	0	2	事業所外の関りがあるか分からない。	当事業所でのイベントの際などは就労支援施設であるグループ会社の事業所との交流を行っています。また高学年の児童には今後の進路の選択肢として作業などの体験も実施しています。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6	0	0	0	説明されたかどうか、忘れてしまった。	個別支援計画作成以外でも随時、保護者様、ご本人様との電話、面談対応をいたします。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	1		来所での面談が難しい場合は、電話
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	1	0	1		
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え会い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	6	0	0	0		今後もお子様の状況をしっかりと共有していけるように保護者様との時間を大切にまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1	0	1		ご家庭での困りごとや課題について共通理解を行い、保護者様の負担軽減できるようにしていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	0	0	0		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	0	2		保護者様同士で交流できる場を作っているように進めてまいります。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4	0	1	1		苦情に対して迅速かつ適切に対応するようにいたします。また、苦情解決の体制についての周知に努めます。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	1	0	0		送迎時や電話連絡等で随時お伝えいたします。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	5	0	0	1		ホームページやブログなどで、お子様、保護者様に必要な情報や日々の活動など発信していけるようにしています。
22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	0	0	0		今後も定期的に研修などを行い個人情報の取り扱いに十分注意してまいります。	
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	1	0	2		マニュアルの周知ができておりませんでした。保護者の方へ随時、周知して頂けるように各マニュアルの閲覧方法を社内で検討してまいります。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	0	0	3		避難訓練は定期的に行っており、結果や内容についてはブログ以外での発信方法も進めてまいります。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3	0	0	3		避難経路を事業所入口に掲示しています。事業所内外の危険箇所の確認や点検を定期的に行っています。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4	0	0	2		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	6	0	0	0	楽しく通えている。	
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	0	0	0	楽しみにされている。	今後もお子様が楽しく通所できるように各種プログラムをご用意いたします。
	29 事業所の支援に満足していますか。	6	0	0	0		今後もお子様、ご家族の方に満足して頂けるように支援を行ってまいります。